

大鹿村中央構造線博物館たより 139号



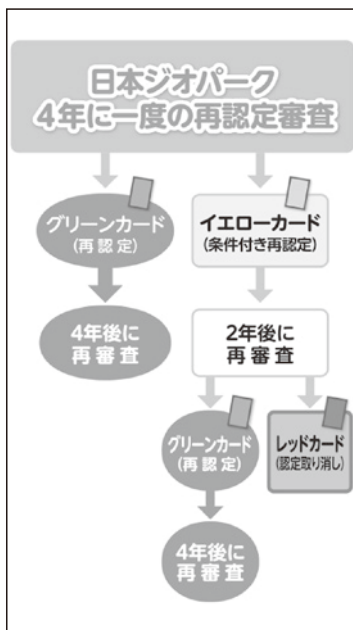
2020年12月発行

TEL: (0265) 39-2205
staff69@mtl-muse.com

博物館おためし月曜日開館を始めます

中央構造線博物館ならびにろくべん館は、月火が休館日（ただし、4月～11月の祝日は月火でも開館）となっていました。月曜日も開館して欲しいという声が挙がっているため、1月11日（月）～3月29日（月）までの間、おためし期間ということで、月曜日も開館してみることとなりました。4月以降は、3月までの実績などを元に、継続するかどうか再度検討することとなっています。どうぞご周知願います。（宮崎）

南アルプス（中央構造線エリア）ジオパーク 再審査がありました！



11月のはじめに、南アルプス（中央構造線エリア）ジオパークの再認定審査があり、11月3日には、2名の審査員が中央構造線博物館、大西公園を視察に来られました。

南アルプス（中央構造線エリア）ジオパークは、2008年に日本ジオパークに認定され、2012年、2016年の再審査を通過して今に至っています。これまでの12年間のジオパーク活動を通して、中央構造線の露頭の整備や、地元の教育活動などを中心に、地味ながらもさまざまな成果が出てきています。しかしながら、近年、ジオパーク再認定の審査が大変厳しくなり、今回の再審査では、各ジオサイトの地質的根拠が整理できていないこと、ジオパークの運営体制を強化することが必要であることなど、多くの問題点の指摘を受けることとなりました。

今回の審査の結果は来年2月頃に判明するそうです。結果は、グリーンカード（再認定）かイエローカード（条件付き再認定）のいずれかです。どちらの結果であったとしても、今後の南アルプス（中央構造線エリア）ジオパークのありかたにつきまして、構成自治体（富士見町、伊那市、大鹿村、飯田市）の間で、改めて検討する時期に差し掛かっているのかと思います。（宮崎）



写真1 博物館の視察風景



写真2 大西公園の視察風景